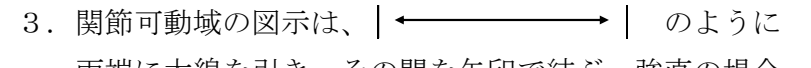


関節可動域 (ROM) と筋力テスト (MMT) (この表は必要な部分を記入)

筋力テスト ()	関節可動域	筋力テスト ()	関節可動域	筋力テスト ()
筋力テスト () ↓	↓	↓	↓	↓
() 前屈	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	後屈 ()	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	右屈 ()
() 前屈		後屈 ()		右屈 ()
右	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	伸屈 ()	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	左
() 屈曲		() 伸展		屈曲 ()
() 外転		内転 () 肩		外転 ()
() 外旋		内旋 ()		外旋 ()
() 屈曲		伸屈 () 肘		屈曲 ()
() 回外		回内 () 前腕		回外 ()
() 掌屈		背屈 () 手		掌屈 ()
() 屈曲		伸屈 () 中指節 (MP)		屈曲 ()
() 屈曲		伸屈 () 示		屈曲 ()
() 屈曲		伸屈 () 中		屈曲 ()
() 屈曲		伸屈 () 環		屈曲 ()
() 屈曲		伸屈 () 小		屈曲 ()
() 屈曲		伸屈 () 近位指節 (PIP)		屈曲 ()
() 屈曲		伸屈 () 示		屈曲 ()
() 屈曲		伸屈 () 中		屈曲 ()
() 屈曲		伸屈 () 環		屈曲 ()
() 屈曲		伸屈 () 小		屈曲 ()
180 150 120 90 60 30 0 30 60 90		伸屈 ()	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	屈曲 ()
() 屈曲		() 伸展		屈曲 ()
() 外転		内転 () 股		外転 ()
() 外旋		内旋 ()		外旋 ()
() 屈曲		伸屈 () 膝		屈曲 ()
() 底屈		背屈 () 足		底屈 ()

備考

- (注)
1. 関節可動域は、他動的可動域を原則とする。
 2. 関節可動域は、基本肢位を0度とする日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会の指定する表示法とする。
 3. 関節可動域の図示は、 のように両端に太線を引き、その間を矢印で結ぶ。強直の場合は、強直肢位に波線 (S) を引く。
 4. 筋力については、表 () 内に×△○印を記入する。
×印は、筋力が消失または著減 (筋力0・1・2該当)
△印は、筋力半減 (筋力3該当)
○印は、筋力正常またはやや減 (筋力4・5該当)
 5. (PIP) の項母指は (IP) 関節を指す。
 6. DIPその他手指の対立内外転等の表示は必要に応じ備考欄を用いる。
 7. 図中塗りつぶした部分は、参考的正常範囲外の部分で、反張膝等の異常可動はこの部分にはみ出し記入となる。

